



小学部 国語科 一題材の実践事例

題材名：『附特チャンネル』で、写真についての問いに応じて答えたり、経験したことがわかるように詳しく話したりして、配信用動画を撮影しよう

授業者：柳井 貴恵

題材目標	知・技	『附特チャンネル』で、配信用動画を撮影する時、詳しく話すために必要な視点がわかり、自分が経験したことの写真や動画について、話す内容に含まれる視点カードを選んだ後「だれと」「なにをした」「色」「形」「物」などを入れて話す
	思・判・表	自分が経験した様々なことについて話す時、話したい内容について考え、詳しく話すために必要な視点を判断し、「だれと」「なにをした」「色」「形」「物」などを入れて話す
	学 び	自分が経験した様々なことについて、必要な視点を入れて詳しく話す

教材と仕組み

教材名：『附特チャンネル』

①タブレット端末から、話したい動画を選び、再生する

②話したい内容に含まれる視点を考えて視点カードを選んだり、短冊に書いて整理したりする

③選んだ動画について話して、『附特チャンネル』の配信用動画を撮影する

【友だちが話したとき】
★友だちが話したことを聞いて感想を伝えたり、内容に関する問いに答えたりする

観点別評価	知・技	動画を見た後、視点カードから「だれと」「どこで」「なにをした」「色」「物」などの動画と関連のある視点カードを選び、「〇〇ちゃんと、肢体訓練室で、赤いビブス、輪取りゲームをしました」などと話すことができた。
	思・判・表	自分が経験したことに応じて、「だれと」「なにをした」「色」「形」「物」などの視点から詳しく話すために必要な視点を入れて、「合同遊びで、〇〇ちゃんと、青チームで、ボールを投げました」「チャレンジの時間、教室で、シールをはりました。色は赤のバラのシールをはりました」などと話すことができた。
	学 び	自分が経験した様々なことについて、必要な視点を入れて詳しく話す姿が見られた。

関連する授業づくりの手順

知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

教材の仕組みを決定する

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

R研で毎時間の授業の評価・改善

活動をスムーズにするための、動画の提示の仕方の工夫

プレゼンテーションソフトのリンク機能の活用

ポイント：この活動について話したいな。こんな活動があったな。

もう一度見て考えよう。ちがう活動のことを話そう。

・サムネイルをタップすると、動画が再生されるように、プレゼンテーションソフトのリンク機能でスライドを作成した。
・動画の下に、「もどる」「つぎのもんだい」ボタンを作ることで、自分で操作して同じ動画を見返したり、次の動画に移行したりすることができた。また、どの視点を話せばよいか迷ったときにも見返すことができた。

詳しく話すために必要な視点を判断して話すための働きかけの工夫

視点カードと短冊の活用

ポイント：どの視点で話そうかな？

どの視点で話すと、詳しく伝えるかな？

※視点カードには、視点とイラストを記載しました。

・詳しく話すための視点をホワイトボードにはり、提示した。
・動画を見た後、内容を詳しく話すように伝え、どの視点を入れるとよいか尋ねるようにした。
・短冊に伝えたい内容を書いた後、どの視点を選んだのか尋ねることで、詳しく話すために必要な視点に目が向いていた。

考察

○生活場面で「自分が経験したことをイメージして話す」ことにつながるために、今回は、動画を見た後に話すようにした。「色」「形」「物」に着目してほしかったため、これらの視点が含まれる動画を用意したが、動画の種類が少なく、途中から少しパターン化してしまった。
→扱う視点が含まれているものや、本人が話したいと思う内容の動画を、事前にたくさん撮っておく必要があった。

○休み時間などに友だちや教師に撮影した動画を見せるように計画していたが、あまり実施できていなかった。
→「詳しく話すよさ」がよりわかるように、昼休みにホールで動画を流す、友だちや教師に見せに行く活動などを設定すればよかった。